

言語活動の充実により科学的な思考力・表現力の育成を
目指した学習の進め方

学習の流れ

指導上の留意点

1 事象提示

「比較」の観点を取り入れた事象提示を行う



2 事象を説明する

「結果から言えること」において再説明させる事項となる



3 学習問題を立てる

考えを交流させ、問題となるべき点に気付かせ、学習問題をとらえさせる



4 計画を立てる



5 実験を行う

実験の結果は表やグラフに整理させる



6 結果を交流する

結果は「〇〇をしたら〇〇になった」ということ



7 結果から言えることをまとめる

最初の事象提示に立ち戻り、実験の結果を踏まえた再説明として考察を記述させる

自身の学びの高まりを実感する



理科学習の進め方



学習の流れ

1 先生がする実験をじっと見てみよう

おや？どうして？



2 「何がどうなっているのか」理由を書こう

・私は〇〇と考えるよ。
・ぼくはちょっとちがう。
・どっちがほんと？
・解決のキーワードは〇〇のようだ！

⇓ 友だちと考えを話し合おう

3 学習問題を立てよう

・この実験で、問題が解決できるかな。
・なるほど、〇〇の実験を做的是っきりしそうだ。

⇓ 解決の方法を考えよう

4 計画を立てよう

⇓ 問題が解決できる方法かふりかえろう

5 実験をしよう

・3回やってみて、同じような結果が出たらまちがいないね。

⇓ 結果は表やグラフに整理しよう

6 結果を交流しよう

・〇〇をしたら〇〇になりました。



7 結果から言えることを書こう
(先生の実験をもう一度説明してみよう)

・つまり〇〇ということが言えます。なぜなら〇〇だからです。
・はじめの先生の実験も今度は、ちゃんと説明できるよ。

学習したことを生かそう

・なるほど、こういうところに使われてるんだな。
・なるほど、こんなときに使えるんだ。